

※テーマごとにA～Cグループに分かれて解決策について話し合いを実施。

◆第2回 あま市地域懇談会（ワークショップ）まとめ◆

【Aグループ】 テーマ① 互いに支え合うきずなづくり

課題	解決策
協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の情報収集と公開(各団体) ・市HP上に意見交換、情報発信の場をつくる ・公共施設への交通情報の伝達
さまざまな立場、世代の人の相互理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に対して偏見を持たない ・小学校・中学校での人権・社会教育 ・学習機会の提供 ・母親に対する社会教育 ・各障がいに対して教育機関での指導(かんたんでOK) ・ITをとり入れた「顔が見えるネットワーク作り」 ・子ども達とお年寄りの方と一緒に過ごす時間を持つ。昔のくらしのこと(食べ物、衣服、生活、道具)、昔の遊び等を教えてもらったり、一緒に遊ぶ。 ・在宅弱者でもタブレットを使用する⇒扱うことがむずかしいかな？ ・高齢の方の家へ、敬老の日を機会に子どもたちに訪問して声をかける ・下校時の見守りの方々に日頃の世話に対して感謝する会を設けるなどしてふれあう時間を増やす
ご近所づきあいの低下	<ul style="list-style-type: none"> ・すれちがったら必ずあいさつをする ・各推進月間をつくる(ゴミゼロ、挨拶、防犯パトロール) ・高齢者単身世帯への定期訪問 ・道を歩いていても挨拶ができなくて、今は昔のように話をする人がなく残念です ・友愛活動の推進 ・話をしていまも認知症の人が多く家に見える。その人達をどうしたらよいか。
市民としての意識低下	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の中で話をして行事に参加する所がほしい ・公共施設の活用を積極的にPRする ・地区の祭り等をさかんにして多くの方が進んで参加できるようにする。子ども会、老人会、各家族等必ず参加する。 ・市民の活動スペースをつくる。夜9時くらいまで開所して欲しい。 ・色々なボランティアで人の事を気にせず参加して楽しく暮らしてほしい ・各地域にコミュニティ活用を普及する為、指導者の育成をする ・子育て中の女性の能力活用 ・行政がボランティア活動のできる人を要請する
情報の共有不足	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の有効利用 ・障がい者の特性や活動内容を知ってもらう。色々な施設の特集を組んで広報やHP等に載せてもらう。 ・大きな避難訓練時に障がい者、幼児等(団体可)が参加する ・イベント情報を告知する(あまだよりの他、ポスター、チラシ等) ・住民の趣味を聞き出し、色々なサークルを作る ・地域の公共施設の開放 ・昔のあそびを小学校全体で教える

【Bグループ】 テーマ② 地域力を高めるためのしくみづくり

課題	解決策
社会的弱者に対する問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・「出来ない」事を考えるより「出来る」事を見出す ・高齢者を出来るだけ出席させる方法？ ・まず近所の方からあいさつ、声かけ ・声かけすることによって会話が始まる ・社会的弱者に手をさしのべる機会を充実させる ・あまつりの細分化 ・早期療育の実現 ・高齢の孤立⇒見守り隊のできる事を増やす ・各障がいに対する勉強会 ・公共の場でも少しずつでも職場に障がい者を雇用する
関係機関の施策に対する問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・弱者の対象者を絞る(例:①高齢者、②障がい者、③生活困窮者、④雇用が安定していない) ・窓口の対応が受け入れ(相談)し易い訓練習得した人が当たる ・それぞれが研修を受け一歩ずつ自己を磨いてゆく ・高齢者福祉サービスが充実している街！現在の行政では、高齢者の健康チェックが不十分と考えられるので、例えばキットが備えられているか？ ・気軽に相談できる窓口 ・他人のせいにならない。まず自己研鑽が必要。 ・小・中生になると働きに出る親が増える⇒有償ボランティアの必要性 ・昼間に高齢者、子育てブースなど ・「12日観音様」の『市』の活用
地域人材力に対する問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・“広報見ましよう”運動 ・広報、メールマガジン(登録制)などで情報提供しているが +HP、手作りポスター ・高齢者世帯(老々介護での共倒れを防ぐ方法を考える、介護の程度をどのように理解出来るか、災害時の対策はどうか) ・地域のおじいちゃん、おばあちゃんに手助け、活躍してもらおう(孫育て) “ソフリエ”の誕生 ・情報(例:広報や新聞・ネット)を集め、必要性があるものを広く周知する ・人材育成の講座。周知、告知。
参考例	<ul style="list-style-type: none"> ・おじいちゃん、おばあちゃんの再教育勉強会(子育て支援) ・見守り隊のできることを増やす ・近所同士の声掛け、あいさつ運動(閉じこもりがちの人への第一歩) ・障がい別の勉強会(障がい者を理解するために) ・各種まつりの内容再検討(内容・規模・開催時間等) ・障がい者と健常者が一緒に勉強会を行う。 ・障がい者の就労支援として …2%の出前または家内労働。できることだけしてもらおう就労等 ⇒ 内容の検討・提案 ・広報を見よう(読もう)運動(情報共有の第一歩)

【Cグループ】 テーマ③ いつまでも安心して暮らせるまちづくり

課題	解決策
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに名簿、電話、年齢表をつくる事 ・ゴミ袋の配布を従来の通り地域組織で行うようにする ・ふれあいサロン等を定期的に行うとよい(月1回ほど) ・ファミサポ。幼～小まで対象、大人まで対象を広げ、提供会員の方も仕事内容の幅を広げてもらう(色々な人材バンク) ・各会や行事などオンドのとれる人材育成をする ・神社・お寺でのイベントを多くする ・地域の行事を考える時に子供たちに企画、運営に参加させる ・役員になっても負担が少なくて済むようにする ・高校生くらいの子供たちに地域行事の運営をさせる ・入っていない人や新しく転居してきた人に町内会の説明をする
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターを活用(退職者をいかに行政に参加してもらうか) ・小学校入学あたりの保護者むけに発達障がい等わかりにくい障がいの講演会等 ・無料タクシーの活用(病院、買物等) ・コミュニティバスを買い物ができる場所まで運行する ・障がいへの理解を深める為に子どもの頃からの教育と人材育成が必要 ・近隣のスーパー等のお届けサービス(特にネット利用できない方むけ)ボラさんが注文を取りに行く ・様々な障がい、病気などへの普及啓発(講演会など) ・福祉サービスに対するニーズを市全体でアンケートにて調査する
交通の便	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表を作って、バス停もはっきりしてほしい ・市内バスは地域循環型、広域循環型の2本立てとする ・コミュニティバスの運行体制をどうするか?市(公営)にするか民間(名鉄バスなど)に委託するか。 ・バスは病院、コンビニ、鉄道駅によること
道	<ul style="list-style-type: none"> ・暗い所が多いため街灯の設置個所を増やし明るくする(駅、通学路、住宅地の周辺など) ・歩道の整備を行う ・歩道と車道を区別する。わかりやすい舗装(色で分ける) ・歩道の改善 ・子どもがよく歩く!などの分かりやすい標識を作る ・側溝のフタのない所は早急にフタをする
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6才での発達面での健診 ・各地区の平均寿命・健康寿命データを開示する ・減塩食事の指導 ・市内の各医療機関の連携をとる(総合病院ができればそこを「核」とする) ・脳梗塞、心筋梗塞の防止指導をする
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時だれにでもすぐわかる状況を知らせる方法をつくる ・防災訓練。障がい児者の個々の問題に合った訓練。 ・各地区の区長、町内会長にもっと権限があると良いかも ・先月の雨で道路が冠水した場所を明確化する。場所、水深。 ・区長等に一人暮らしの方の名前を知ってもらう

課題	解決策
子どもの生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室。あま市内、各学校でバラつきがあるので統一の方向で交流会など開く ・街の中に見守り隊みたいな方がいれば良い ・定年退職された人による見まわりや子どもの登下校の付き添い ・子どもが安心して遊べる公園等にシルバーの方(見守り隊)に入っただく ・学区の割りふりは行政が悪者になってふみ込むことも大事(グレーゾーンをもうける) ・児童クラブは各小学校の中にあると施設的に送迎も便利(正則小にはある) ・運動可能なゲームの普及(テレビでチャンバラで成功している地区の紹介あり) ・高学年、低学年、幼児毎に公園内の区分をする
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援課(児童クラブ)と学校教育課の連携

テーマ① 互いに支え合うきずなづくり

協働の推進

さまざまな立場、
世代の人の相互理解

ご近所つきあいの低下

市民としての意識低下

情報の共有不足

テーマ② 地域力を高めるためのしくみづくり

社会的弱者に対する問題点

関係機関の施策に対する問題点

地域人材力に対する問題点

テーマ③ いつまでも安心して暮らせるまちづくり

地域のつながり

地域福祉

交通の便

道

医療

防災

子どもの生活安全